

あなた…ごめんね。
私、ホントの幸せ
見つけちゃった♡

私…

本当の絶頂—しあわせ—

を知ってしまいました…。

ごめんなさい…

それは…

あなた以外の人となの…。

※この物語は、完全にフィクションであり、
登場する人物・団体・名称・設定・服装、
その他いかなる権利にも関係しては
全く無関係であり、実在する人物とは
一切関係ありません。

また、作中のいかなる表現におきましても、
差別的な表現などは一切ございません。

R18
成人向け

コミック
80p以上



ほんと…気温が高い
わけでもないのに

じわあ♡

汗かく体質
どうにかならないかしら

汗臭く
ないかしら…

ぢわあ♡

ああ…
大丈夫だよ

ぢわあ♡

あら…
こんな朝から…
だめよお…

どちらかといえば
ムラムラする
ニオイだよ…

ぢわあ♡

びん



朝のこんな時間
だから興奮
するんじゃないか

420人

しょうがないわね♥

もう
あなたったら…

あっ♥



あ…うん
気持ちいいよ

気持ちいいかい？

ああっ
でそう

あっ…
ちよ…

出るっ！

興奮してるから
もういきそうだ

あ…



ぐんぐん!

あっ...
ああ...



もう少しだけ
長くこすって
くれたらな...

まあ...
しょうがないか...



...

涼子は
イッたかい?



ねん

涼子...
気持ち
よかったよ...

ぽん...

今まで
私は女としての
快楽や絶頂を
然程経験したことが
ありませんでした

よそも…

そんなものを
求めることは
汚らわしい事だとさえ
思っていました



こんな
感じだろうし…

それに私たちは
お互い初めての相手で



どこかでもっと
快感を得たいと
いつからか
感じていました

ただ本能的な
ものかもしれませんが



スキンシップの
延長くらいに
考えていたのでした

他の人とのセックスと
いうものを
全く知らなかったので

私は永丘涼子

ある会社の寮母を
しています
業務内容としては

共用部の
お掃除だったり



夕食の用意だったり



あとは

ちょっとした
雑用ですね



何でこんなこと仕事を
することになったかと
言いますと

夫は会社の総務課で
働いているのですが

人事からこのご時世で
なかなか寮母として

きてくれる人がいないから
というので
私がやることになったのです

おん♡





実際働いてみると
思っていたより
忙しくはなかったのです

んーっ



仕事をする前は
どんなに忙しいんだろうと
かなり緊張していたのですが



え？

おしりのとこ
破けてるわよ？



細見くん！

あっ



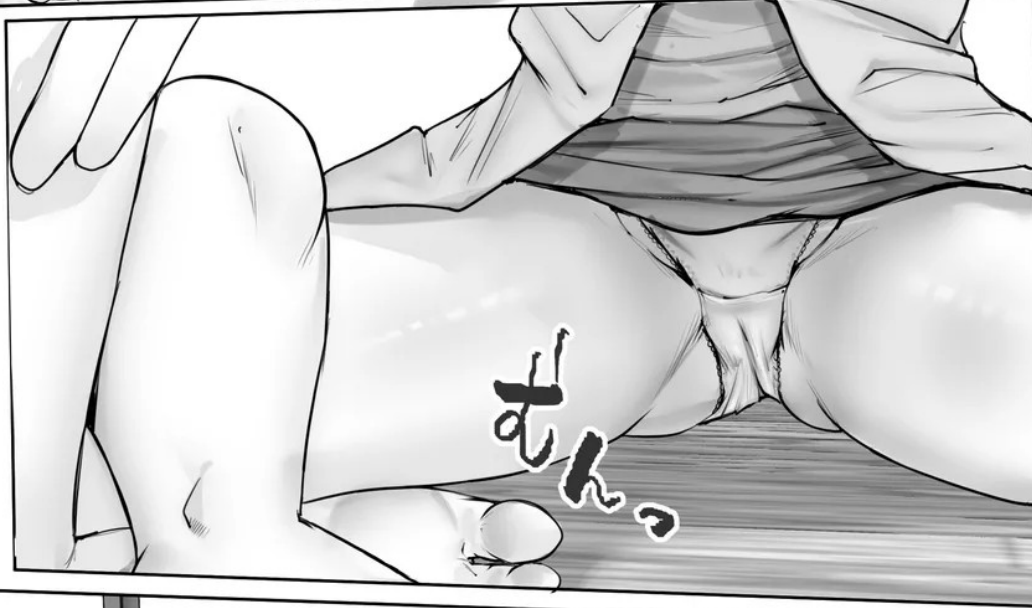
ほらほら
いくわよ？

遠慮は
いらなから



私の部屋に來なさい
縫ってあげるから

こんなところでって
いうのもなんだから





またなんか
あったら
言ってね！

は…はい

ありがとう
ございました

はあ〜♡

あんなので
かき回されるのって
どういう感じ
なんだろ…

なんか…

エッチな気分
になってきちゃった

あの子…
私が大学時代に
好きだった人に
似てるのよね

面影が
似てるのよね

余計に
ドキドキしちゃう♡



いつからか…

んっ♡

んっ♡

ずっとムラムラ
していた
私には

んっ♡

こ…こんな
厭らしい事…

変な性癖が
身について
しまっていました

…誰かに
見られる前に

でも…
こんなところで
一人エッチしてる

やめなきゃ…

エッチな自分を
想像したら…

それは—

ニギヤ
ニギヤ

ニギヤ
ニギヤ

気持ち良すぎてっ

んっ！！

ハ
ハ

ハ
ハ

誰かに見られるかも
しれないところで
自慰行為をすることで





あんなこと
するなら…



オナニーしてる…

涼子さん…
また…
あんなところで



僕なら…

あんな切ない
思いは
させないのに…



僕とセックス
してくれたら
いいのに…



ズブズブ
してあげられるの…

あっ…ああっ
涼子さんっ…
涼子さんっ…



何度だって
何度だって…
涼子さんが
トロトロになるまで

んっ

んっ



おはよう
ございます

ああっ!
びっくりしたっ

ヒゲッ



おはよう
ございます

今日は
早いわね

あっ彼女と
デートか
なんかかな?

って...

今の時代に
こんなこと言ったら
セクハラになるかなあ



昨日は...
ありがとう
ございました

ああっ
全然いいのよ
気にしないで

あ...あの...

ん? どのの?







取引条件は
なんなのよ...?



取引を
したいんです

ただ...

一応脅すつもりは
ないんです...



許可して
もらえませんか?

涼子さんの...
体を見て
ニオイを嗅いで...
シコシコ
したいんですけど

お願い♡



それじゃ
重大なコンプラ
違反で報告...

そうですか...

ちょ...
それだけはっ...!



そ...そんなこと
許せるわけ
ないでしょ!



…どうしようも
ないのよね…
わかったわ…

物分りがよくて
助かります

それじゃ早速
涼子さんの乳房を
見せて欲しいですね



それじゃ…
同意して
いただけますか？



何を躊躇することが
あるんですか？

ん…ん…ん…

寮内の
あちらこちらで
オナニー
しまくってるのに



これで…
いいの…？



ん…もお…



ふおおおお…
これが…

間近でみる…
涼子さんのおっぱい…

ねえ…細見くん…?

あの…その…
私の恥ずかしい事
いつ頃から見たの?



僕が入社してすぐに
目撃してしまいました

そんなすぐに…
見られちゃって
なんだ…

ええ…

あれから…
ずいぶん
我慢したんですけど
無理でした…



それはそうと…
昨日のオナネタは
なんだったんですか?

モニ…♡



ですよねえw

そんなスケベなコト
考えるわけ
ないっすよねえw



そ…そんなわけ…

もしかして…
僕の勃起チンポ見て
ムラムラしたんですか？w



ああ…朝の洗濯で
汗ばんだ
涼子さんの腋…

まだ朝なのに
もう独特な
匂いがしてる
エロい腋…

ああ…
少し酸っぱいニオイ
たまらない…

ああ…涼子さんに
触れられるなんて
夢みたいですよ…

何言ってるの…

チンコに
少し何か触れただけで
いきそうですよ…

このコ…ほんと
おチンチン
おっきい…

いや…
キモいコト…
いわないで…

下着越しでも
わかっちゃう…



すごい鼻息だし...
そんなに
興奮してるの...?

なっ...

何このコ...
ほんとにおチンポ...
シコシコしてる...



いいんですか?
報告しても...

ああん!
もうっ!



あっっ!
こらっダメ!

どっわあ..

おとおお：
エロ臭そうな
マ○コ...

めちやくちや
蒸れ蒸れだ！

どいん！

なんか：
変な気持ち！

おお：
酸っぱいニオイに
シヨンベン臭！

汚いところ
ナメナメされて：
なんか感じて
きちゃった

たまらない！





私…こんなこと…
こんな変なこと…

るるっ…!

ひぎゅっ!

あれ?
どうしたんですか?
もしかして
いったんですか?



ああ…
だめっ…

いかっ…い…
イカされっ…

若くて激しい
舌遣いに…



るるっ!

それから頻繁に
動画をネタに
呼び出されて…



まあどうせでも
いいですw

ああ!
ちんぽきもちいw
いくいく!



そんなわけ
ないでしょ…?

何やられ
てんだろ…

訳の分からない彼の性癖に
付き合わされました

そんな間にも
彼は別に私に
何かをするように

うっ！でる！

ぐわっ♡

求めてくるような
ことはありませんでした

ただ彼が求めてくるままに
服をはだけて乳房を晒したり

シクシク

くはあ♡





性器を見せるだけです
彼が見抜きをするために…

普通に考えたら
気持ち悪いことですし

涼子さん…
なんでそんなに
エロいんですか…

涼子さんのこと
考えるだけで
パンツベッタベタ
ですよw



訴えるべき
事案なのだと思います

何だったら
然るべき機関にでも

でるっ！



ワキマンロ
エロすぎ…

でも…先にも言いましたが
このコは私が大学時代に
本当に大好きだった人に

それどころか…
段々焦らされているような気になり
どんだんムラムラしてきて…

彼のモノを
一回だけ…私の中に
受け入れたなら

……

ああエロ…

涼子さん…
綺麗です…

顔立ちがすごく
似ていることもあって
どうしても無下には
できなかったのです

一日労働して
動き回った
涼子さんの
お疲れさマンコ

すっごいニオイ
してますよ…?

どんな感じなんだろう…なんて
厭らしい淫らな感情に
なってきました

それほど…

4マンコ

それほど執拗に私のあっちこっち…
それこそ私の臭くて汚いところ…

ヌイ…

恥ずかしい垢が
たまっているところまで

キュル

カバ

んひうっ

ハア♡

ペロペロと舐めまわして

刺激だけされて
おあずけをくっているような
そんな感じだったので

彼自身のいきりたつて
パツンパツンになった
おチンポを

シユシユとごいている
ところを見せられているのです

ね…ねえ
細見くん?

ニヤジ♡

クワ

クワ

スコ

スコ

スコ

スコ

スコ

スコ

スコ

おチンチン
シコシコしてる
ただけけど...

え？
はい？

ぷん♡

ぷん♡

ずっとクンクン
ナメナメして...

女わっ♡

そ...そうなんだ...

僕は涼子さんと
こういうことが
出来ているだけで
納得できていますよ

そんなので...
おチンチン
納得できてるの？

ぷん♡

スー♡



え...?
勿論...
したいですね



...セックス自体は
したくないの?

しゅり



その時はもうだいたい
おマンコを散々ペロペロされ
頭に霧がかかっている感じがして

意識もぼやっとして...
訳が分からなくな
ってしまっていたのです

むわっ

しゅり♡



ふん...
そっか...

そんな状態で
つつい私からは決して
言っはいけない言葉を
口にしてしまったのです

...ねえ...?

しゅり♡
しゅり♡
しゅり♡

しゅり



え...え?
ほんとですか?!

いいのよ...?

一回だけなら



ぐちっ♡

ぐちっ♡

ぐちっ♡

本当に...
どうかしていたんだと
思います...

う...うん...



ほんとに...
いいんですか?!



こんなこと...
絶対にダメなのに...



もっわみ♡

本当に一回だけよ?

正直一回でも
快楽を味わってしまったら
取返しがつかなくなってしまうのではないかと
そう思いました

くっばあ♡

おマンコをペロペロと舐められるだけであれほどドキドキと
してしまったのですから…

これが…
念願の…

涼子さんの

おマンコっ!
んあッ!
涼子さんの中
きもちいい!

とん!!

保さんのと
全然ちがうっ…

あめっ…
めちやくちや
♪…♪…

それでも…
こんな不埒な状態を
ずっと続けるわけには
いきませんし

一回のセックスだけで
納得して終わらせてくれるなら

なっ…!!
何これ…
こんな…

セックスって
こんななの…?!

それはもう
仕方がないかなと思って
受け入れたのです

決してこの子に
心を許した訳じゃ
ないんです…

涼子さんの中
ほんとは…
やばいですよ

んん
むん♡

きつと…
大学時代に大好きだった
あの想い出の人に

んん…

うん♡



あー
きもちえー

ボクッ

ドクッ



面影を…
重ねているだけなのです

涼子さんは
気持ちいいですか？

あっ…
あんまりね…
っっ…

むん♡

ボクッ

ドクッ

へえ...そうすかw

そうは言ってますけど
ほぼ抵抗なしで
ヌルっと奥まで
受け入れてくれて

ボキーン

ボキーン

ボキーン

ドキーン

ボキーン

ボキーン

ボキーン

気持ち悪い...

なに...
何言ってるの...

さらに涼子さんの
おマンコから
エッチな汁が
ずっと出てますけどねw

一突きするたびに
風圧でエツロくさい
匂いが吹きあがって
きますよ?

うるさいわね...
おまんこ...
おまんこ...

このこの
おチンチン...
メチャクチャ
遅いわ...

夫のおチンチンでは
絶対に届かない
奥の気持ちいいとこ
トントニされてるっ

メホ...

メホ...

メホ...

メホ...



ダメ…
ダメよっ…

夫以外のモノで
気持ちよくなっちゃ…

そう！
このチンチンは
玩具なのよ

私は…そんな
淫らな人間
じゃない！

大人のおもちや
なんか…
使ったことないけど

はず…



つ…強く
吸ったらダメッ

ムム

涼子さん！

出そうっ！
出そうです！

そっ外にっ！

外に出してっ！

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム

ムム



涼子さんの中…
やっぱ…
めっちゃ気持ちいい…

何この…
すっごい量…
まだ出てる…

涼子さんは
気持ち
よかったですか…?

ヌタァ…



つていうか
どこで
拭いてんのよ

あらあ…
気持ちよく
なかったですか…

ネエアンタ
キイテンノ?

悔しいなあ…
僕もまだまだ
ですね…



あ…ええ…
あ…あんまりね…

しよーじき…
ヤバかった…
私が人の妻じゃ
なかったら
もっと無茶苦茶に
なってたかも…

こ…こんなこと
ホントに
これつきりに
しないと…

ズルズル…
引っ張られたら
ダメなのよ…

ア
わ
あ

そうこれつきりに
しないと…

取り返しが
つかないこと
なっちゃうから…

ど
わ
あ

どうい理由が
あったとしても
許されることじゃ
ないんだから…

一回だけって言って
セックスまで
したんだから…

このまま
納得してくれてたら
いいんだけど…

あれから数日間

何事もなく
過ごしていました

むわぁ

あの日の約束を
守ってくれているんだなって

ムチャ♡

細見くんも
一回だけという

ぷりん♡

そう思っていた…
のですが…

むち♡



しかし…細見くんは

ええっ?!

あの一回だけって
言ったでしょ?!

また別の提案を
持ち掛けてきたのですた

え?
そんなこと
言いました?

セックスが
一回だけって
言ったんじゃない
なかつたですか?

数日間…何も言って
こなかったじゃない…?
わかつたくれたんじゃない
なかつたの…?

や…
やめなさい!

え? いえいえ
このおもちやが
届くまでの数日間
我慢してただけですよ

そうなると涼子さんも
無傷ではいられないと
思いますよ？

何だかんだ言っても
自己責任の社会
ですからね…

理由はどうあれ
ご自身で何度も
受け入れてくださった
わけですから…

それを
世間はどうか判断
するでしょうかね

そして…

あの数々の動画を
永丘さんが見たら
どう思いますかね…

事情を理解してくれた
としても…
心中穏やかでは
なくなるでしょうねえ

まわま♡



僕は
どちらでも
いいですよ？

さあ…
どうしますか？
涼子さん…

やっぱり…
バレたら…

涼子さんの
ムレムレマ○コ
味わっとこw

もお…

玩具入れる前に
数日ぶりに…

わんわん♡

わんわん♡

わんわん♡

まんまり♡



もお：
汚いから
舐めるの
やめときなさいよ

ちゅっ

ああ…
くっさ…
スケベなカス
めっちゃ
ついてるじゃ
ないですかw

んっ…



なんだ：
涼子さん
なんだかんだで



気持ちいい
ですか？w



期待なんか
してないわよ…

スケベな行為
期待してたんじゃ
ないですかw



おっ
ほとんど
抵抗なく

受け入れてくれてる
じゃないですかw
ヌルヌルw



おおおおお…

エッチな涼子さんに
めちゃくちゃ
似合ってますよw

言われるがまま…
こんなの着けたけど
どうなるのかしら…

もし…
保さんに
求められたら
どうしよう…

いうしかな
ないのかな

生理だからって

ムッ♡
ムッ♡
ムッ♡

ムッ♡
ムッ♡
ムッ♡

ムッ♡
ムッ♡
ムッ♡

ぷりん♡





なにこれ…?!



ちよつと…
なんかお腹が
痛くなっちゃって

ううん…
なんでもないの
ごめんなさい



どうしたんだい?!

あつた…



なにか…薬でも
持ってこようか?

ええ…
大丈夫かい…?

びくっ♡



本当に...
大丈夫かい?

あっ...

んんっ♡

これ...
ヤバい...
なんか出そう...

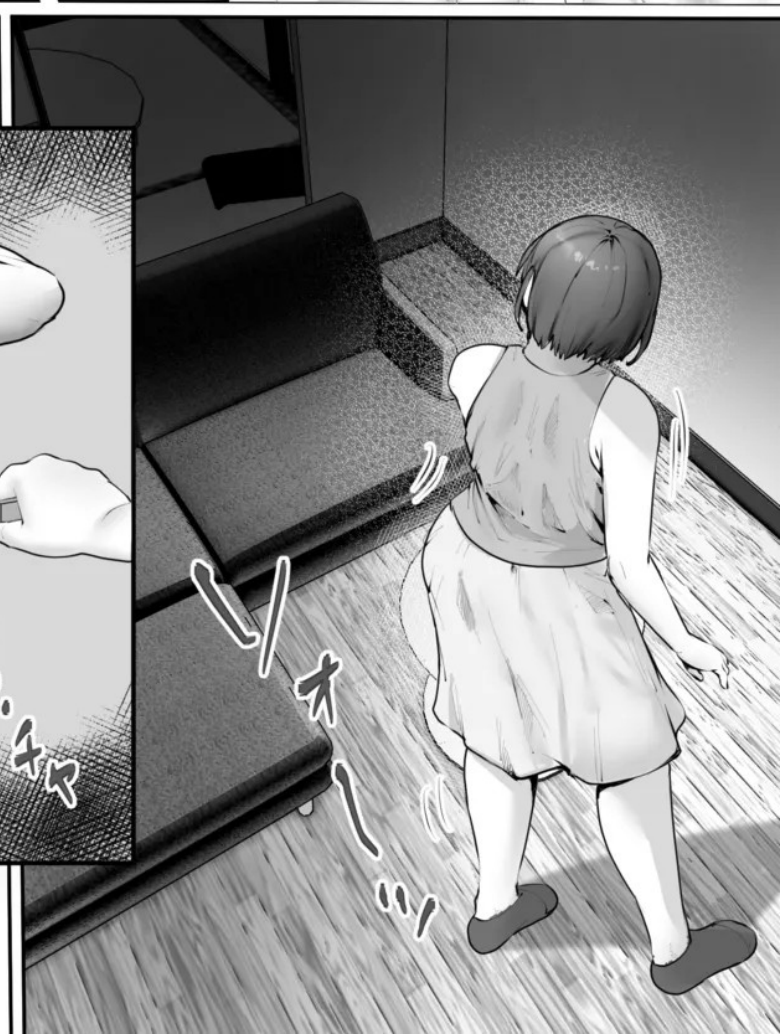
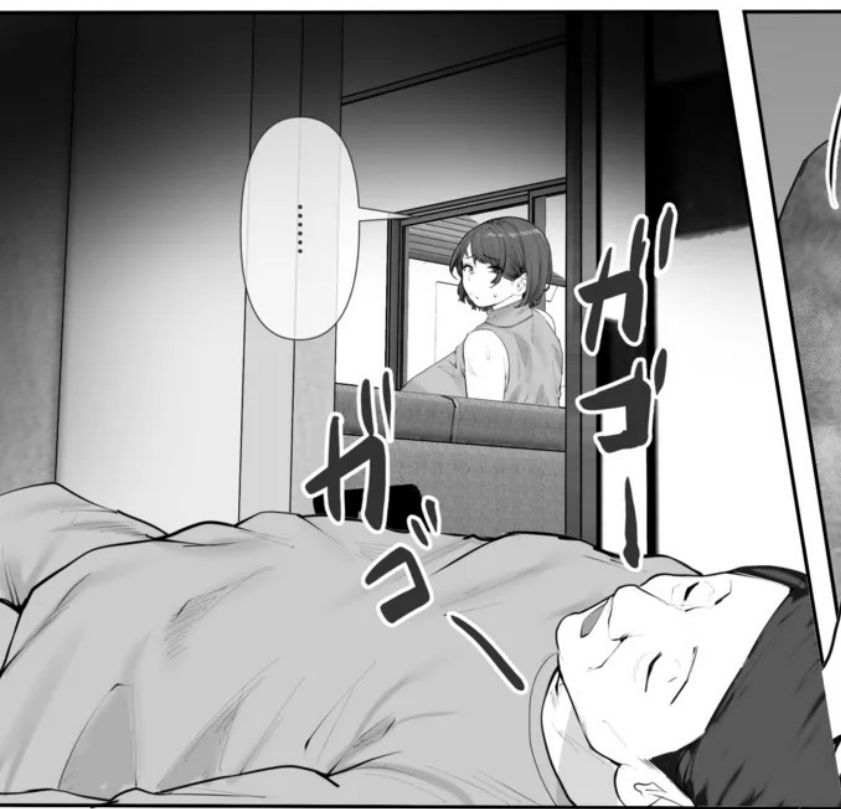
あああ
やばい
やばい
やばい
やばい

出ちゃうっ♡

びしょ♡











あんなこと
されたら…
困るわ…

夫にばれたら
どうしてくれるのよ

ああ
すみません
あれは
もうやりません

えっほんと?!
でもなんで?

だって僕が
全然おもしろく
ないんで

え…

そんな理由なの…?

え?
そうですけど?

そうだそうだ
貞操帯外して
欲しいんでしょ?

っていうか
壊してでも
自分で外せば
よかったじゃ
ないですか

それでもなんだかんだ理由をつけてきてくれたってことは

な…何の期待よ…あんな状態で正常な判断が出来なかつただけよ

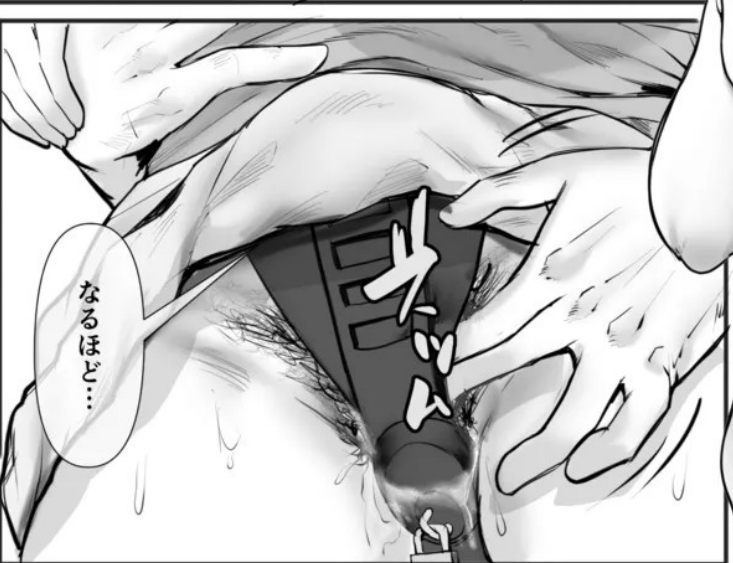
何か期待してのことなんじゃないんですか？

ム…ワ♡

なるほど…

こんなにベタベタになるくらいですもんねw

いっ…ひっばっ！







スケベな液体で
マ●コまわり
ベッタベタじゃ
ないですか

うっわ：
一嗅ぎで
出てしまいそう
なくらいのニオイ...

あぁ...
本当に好きだ...



だ...だめ...
絶対にだめよ



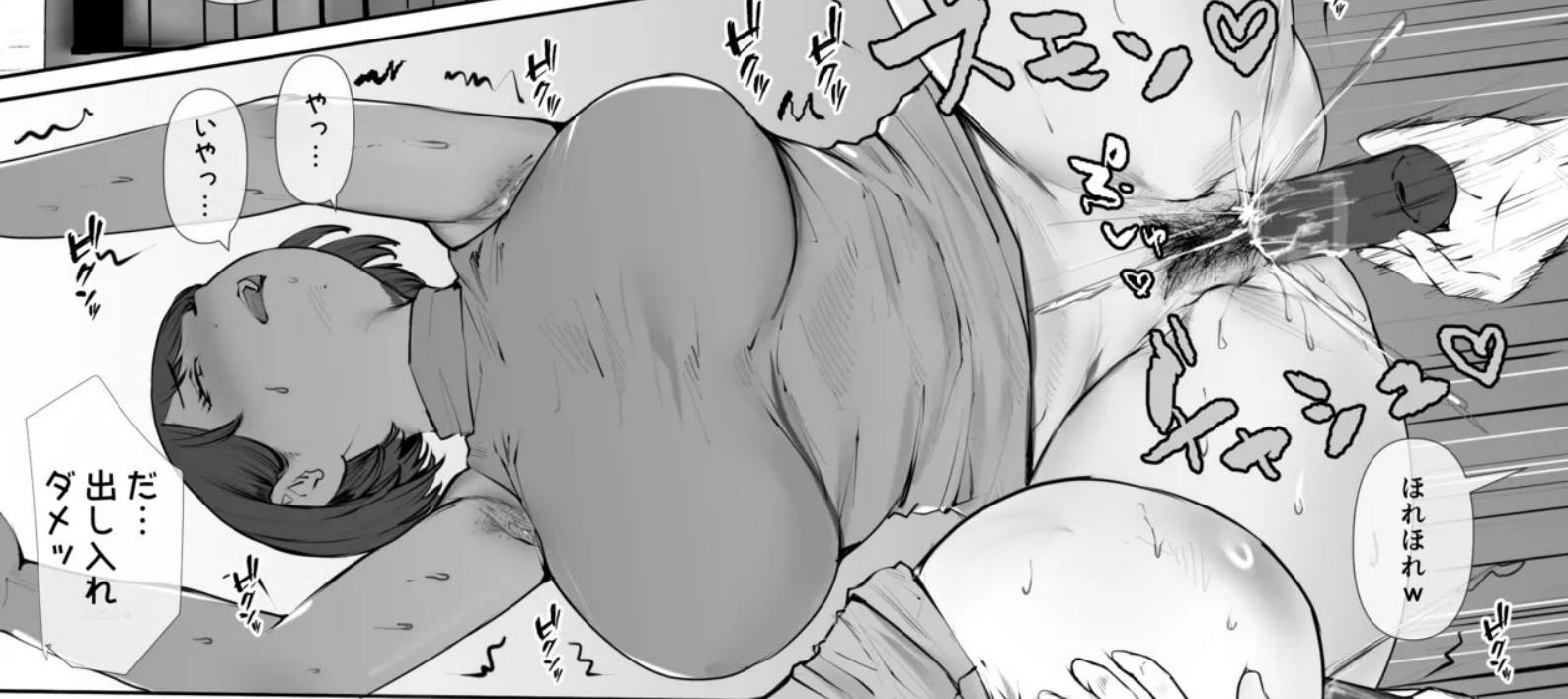
すごい
滑り具合ですね
気持ち
よさそうです

ねえ涼子さん
僕のチ●ポ
挿入れて
いいでしょ？



ダメなんですか？
えー悲しいなあ

もっと
正直に
なりましょうよ



いっ...
いっ...

だ...
出し入れ
ダメッ

ほれほれw



あーこれ...
すっごい...
すっごいなあw

奥から奥から
ずっと
エッチな汁
出てきますよ



細見くんっ!
もうやめて!
そんな汚いところ
顔近いよ?!

ムワッ♡

ああ本当に:
涼子さんのマ○コ
においエロすぎです
スラスラして:
おいしそうな
涼子さんの
スケベ汁:

涼子さん?
僕はね:

あなたの足先から
頭のとっぺんまで
大好きなんです

あわあ♡

こんなこと:
やめましょ?
お互いのため
にならないから!

あなたから
出たものなら
なんだって
口にいらても
平気なんです

スシ
スシ

スシ

ッ

もしかして…
舐めるの…？

マジで汚いから！
ほんとやだつて！

ほんとだめだよ？
お腹壊すよ？
やめて？

こんな状態で
いつもみたいに
激しくペロペロ
されたら…

絶対にスイッチ
はいっっちゃうっ！

ふあああ
あああ…

木下、ロア

ぬるん

わろ
わろ
わろ

ヒキ
ヒキ
ヒキ

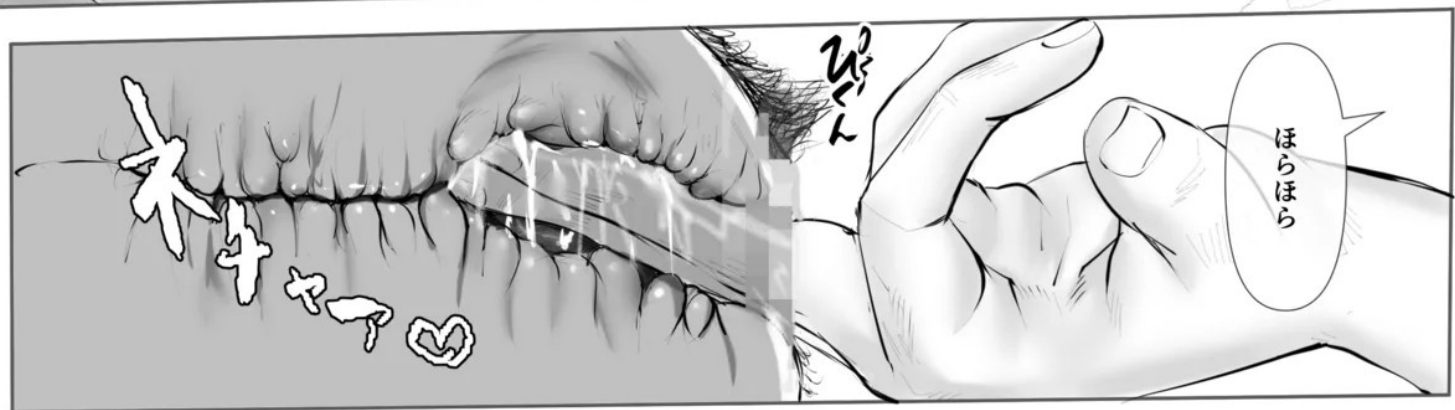
ヒキ

ヒキ

ヒキ

ヒキ

ヒキ



あら…
今日はブラ
してるんですね



吹いちゃうほど
よかったですかw



ふふふ…



涼子さん…だいぶ
我慢してるんじゃない
ですか？



おん

おん



ふふふ...
涼子さん

何の
我慢よ...

これだけの状態に
なってるのに
強がり
過ぎますよw

あぁっ...
そこはっ



だめだめだめっ
ええええっ ♡

もう...
ダメかも...

また
負けちゃう...

ねえ涼子さん...

...?
なに...?



僕も気持ちよくしてほしいなあ



あゝ僕も気持ちよくなりたいなあ！



涼子さんだけ気持ちいいのずるくないですか？

あなたが勝手にしてるだけでしょ...？知らないわよ...



涼子さんのにも僕が早くいって...

サラッと終わった方がいいでしょ？



ほんと！マジでちよっとだけでいいんで！

いやよっ！なんでそんなことしないといけないのよ！



涼子さん...ほんとちよっと！ちよっとだけ口でしごいてもらえないですか？



やめてよ

れっ♡



はぁー♡ はぁー♡

くっさ...
へんな気分
なりそう...

メツチャかわいい...
かわいいです
涼子さん

うわあ...
涼子さんが
僕のチンコ
舐めてくれてる



いやほんと
マジで
かわいいっす



つまらないこと
言わないで

ニキッ♡

ペロッ♡

ニキッ♡



涼子さんの
ロマンコやっばW

っほ♡



おおおお

っほ♡



かっ♡

あー涼子さん
奥までイって
もらったほうが
早くいけるかもです



ねえ…涼子さん
僕と浮気セックス
しましょうよ

これだけ
スケベなこと
しておいて

今更我慢して
どうなりますか？

欲望に忠実に
なりましょうよ

涼子さんも
旦那さんの夜に
満たされてないから
あんなこと
繰り返して
いたんでしょ？

いやこれだけ
我慢したからこそ
気持ちいいですよ…？

ね？涼子さん

キョボ

キョボ

キョボ

ん

ん

キョボ

キョボ

キョボ

キョボ

キョボ

キョボ

キョボ

キョボ

キョボ



結局彼…細見くんの
太長い若くて力強い
おチンポを…



私は彼の提案を
否定も肯定も
しませんでした

涼子さん
マジで
綺麗です…



欲望に負けて
またもや受け入れて
しまったのです



ああ…
涼子さんの膣中
ほんとにやばい…

何もしないで
そのまま部屋に
帰されていたら

私はー

正直あれほど
おマンコを
責められ続けて

性衝動で
どうにかなかった
かもしれません

それほど…快楽に
抗えなくなっ
たのです

こんなにもスケベで
具合のいい名器の
涼子さんを

マジで
きもちいい…

夫のおチンポで
解消しろよと
思われるかも
しれませんが

幾度となく
夫と性交してきたから
理解るのです

これは
最早罪でしょw

ロクに満足
させられない
なんて…

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

ズン

たとえ一夜に何十回夫とセックスをしたとしてもこの火照りを鎮めることはできないことを…

僕が何度だってズボズボしてあげますからね！

そしてー感じるのです

細見くんにこれほどまでにいいようにされても

失神するほどまでに！

そういう扱いを心の奥底で自分自身期待してしまっていることを



なんとかか上ってきた
まともな人間としての
坂道を転がり落ちるような
ことをしている中にも

ペロ出して
涼子さん

絶対嫌!

決して短くない時を
一緒に過ごしてきた
年月の重さもあります

もおろ
つれないですね
涼子さんは

そういつてる
僕が失神するかも W

やっぱりまだ
夫に対しての
情はありました

.....

まあいいや



そんなに簡単に
捨て去ることの
出来ないほどの
重さが…

それじゃ
マンコから
恋に落ちてもらって

自分から
ベロチューの
催促をしてくれる
ようになるまで
頑張るとしますかw

膚にして
あげますからねw

僕のチンポがないと
生きていられなく
なるように



それはパートナーに対して
若い時にいにくような
「好きかどうかわからない」とか
そんな不確かな感情ではなく

おw
潮吹いたw

ほんと
涼子さんったら
エロいんだからw

ハメ潮するほど
気持ちいいんですか

ち…違っ！

涼子さん
こんな体位やったこと
ないでしょ？

いやいやw
体は正直ですねえ

正常位かバックか
ベタベタの
セックスばかり
やってたんでしょ？

明確に夫に対して
「好きでなければいけない」
というようなある種の義務感
とともに私の中に
厳然とあったのです



こんなセックス
だけでしかない
ような体勢w

涼子さん
どうですか？

ですが...それらの心の中の
自分なりの強い思いも

旦那さんが
コスってくれないとこ
届いてますか？

彼の強い欲望のままに
動かされる
激しい腰つきの一往復ごとに

どんだけいい人
なんですか...w

ああしっかし
マンコまで
包容力あるとか...

私の心の内壁の
倫理観や道徳観と共に
削ぎ落されていくのも
感じていました

ガキーン

ガキーン

ガキーン

ガキーン

ガキーン

ああマジで
好きです

毎日毎晩
ラブラブ交尾
しましうようお

冗談言わないで!

涼子さん
マジで僕と
結婚して
くださいよ

バカなこと言わないで
そんなこと出来るわけ
ないでしょっ?!

冗談でこんなこと
いうわけないでしょ
僕は本気ですよ

ドクン
ドクン
ドクン

ドクン
ドクン
ドクン

ドクン
ドクン
ドクン

ドクン
ドクン
ドクン



そんなことより
涼子さん
気持ちいいんでしょう？

中がウネウネ
してますよ？w

全っ然...

気持ちよく
ないってえ...っん

激しくっ...ん
突かれてるから
勢いで声が
も...もれてる
だけよっ...んん♡

まだ認めませんかあ
ほんと涼さんは
強情だなあw

何度
言わせるのよ

吐息交じりに
すっごい
エロい声で
鳴いてますけど



気持ちよさそう
ですけどねえw

あ...ヤバイ...
イキそう...

やばやば
やばっ...



今ッ!
いったでしょ?!

マ○コの内壁
ピクンピクン痙攣
してますもんね?

勘違いしないで!
いってないっ!



んっくッ!

あっ!

すつとほけ
ちやってw

カッ
カッ

せ：セックスって
こんなに…
気持ちいいもの
だったの…？

カッ…

カッ…

涼子さんの
下の口は素直に
表現してくれて
ますよw

とめどなく
本気汁分泌
させてくれて
ますよ

こんな
汚らわしくて
不埒なこと…
気持ちよくなっっちゃ
ダメなのに…

いや、本当に
涼子さんと僕
相性良すぎでしょ

私は…
こんなにも
淫らで不道徳な
人間…だったの？

私が気持ちいい
とこ…全部
シユコシユコ
されてるっ

いけないこと
なのに…

カッ…

カッ

カッ

カッ

カッ…

カッ…

カッ…

カッ…

カッ…

カッ…

カッ…

カッ…

カッ…

カッ…

カッ…



涼子さん
あれだけ欲求不満で
悶々としていたなら

納得いくほど
ズボズボされたこと
ないんですよ？

涼子さん
こんな
求められたこと
ありますか？



これほどしっかり
チ○ポ出し入れ
されたことありますか？

僕なら…
僕なら満足
させられますよ？

ほんと：
おしゃべりね：
はやくイってよ…

マジで四六時中
涼子さんのこと
ばっかり
考えてますよ

ああ僕はほんとに
涼子さんと一緒に
なりたいたんだと
思います

バカなこと
言わないで…
私には夫がいるのよ

それがなんだって
いうんですか
出会うのが遅かった
だけじゃないですか

体の相性だって
こんなにあってるし

そんなこと
ありえないでしょ！

ああ！涼子さんっ！
やばいやばいです！
いきそう！





二度目を許してしまうとそれ以降は

一度だけのセックスなら過ちだった間違いだつたと言えたかもしれませんが

あっ♡
ダメっ♡

口でどれほど拒否しようとも

其れは最早儀式的で形式的なものになっていました

これ以上突かないでっ♡

ダメっ♡
ほんとダメっ♡

心の底では徐々に彼を許容し…それも形を変えていきつつありました



こんなことになっても
夫に対する罪悪感は
ずっとありました

で…である!!

ズボン
ズボン

やはりまだ

…っ…

夫のことを
愛してしまいましたから…

あー
マジで最高ですw

ぬるん









